

『それぞれの領域』 ～ 『営まれる基軸』 ～

2024年3月9日 筆者は、wifeと『ひばりヶ丘駅―>池袋駅―>大宮駅―>軽井沢駅で下車(画像)』―>送迎バスで 万座温泉日進館に向かった。 1800メートルの雪の万座温泉日進館(画像)で【2024年メディカル・ヴィレッジ in 嬭恋村『がん哲学外来カフェ in 万座』『樋野先生お誕生日お祝い会』及び南原繁(1889-1974)没50周年記念に寄せて!】が市村雅昭氏によって企画された。

【南原繁の価値並行論】から【それぞれの領域は それぞれの価値で 営まれるべきなのである】を市村雅昭氏が紹介された。 万座温泉日進館の皆様の心温まる真摯な お持てなしには、大いに感動した。 群馬県高崎市、嬭恋村、長野県軽井沢、千葉県、埼玉県、東京都からも多くの人に参加して下さった。 ただただ感謝である。

お祝い会(宴会)では、豪華夕食を食べながら、カラオケの時が与えられた(画像)。東京都から参加された三国浩晃氏の計らいで、筆者は『おまえに』(フランク永井)、『くちなしの花』(渡哲也)、『すきま風』(杉良太郎)、『有楽町(日進館)で逢いましょう』(フランク永井)を熱唱した。 本当に楽しいひと時であった。

お祝い会(宴会)の後、旅館のロビーで筆者は講演『教養を深め、時代を読む ～ 楕円形の心～ & がん哲学外来 ～ 寄り添う』の機会が与えられた(画像)。 その後、懇談会の時を持った。 3月10日午前中は『がん哲学外来カフェ in 万座 ～ 大弥佳寿子(享年60歳)さんを偲ぶ会 ～』であった。 大弥佳寿子様から【先生は お話される内容も著される内容も ずっと変わりませんね。 ― 先日、整理していたところ、先生と出会う前の 2008年の朝日新聞の切り抜き記事が 見つかりました。 先生の基軸は ずっと変わりませんね。】の励ましのメールが今回鮮明の思い出された。

筆者は、別室で2組(4人)の【がん哲学外来の個人面談】を行なった。 終了後、皆様と食堂で昼食をした。 そして送迎バスで、軽井沢駅に向かった。 今回の【万座温泉日進館の旅】は、まさに、筆者にとって『忘れ得ぬ宝物』となった。

